

七重の滝沢登り～福智山

【報告者】H塚

【日時】2019年8月18日

【天候】曇り時々晴れ

【参加者】H塚、A屋、みっちー、K崎、H田、I藤

《コースタイム》

鱒淵ダム駐車場7:40-七重の滝登山口8:10-一の滝手前・赤い橋入渓8:30-
七の滝終了10:30-co405 二股・登山道分岐11:10~11:30-
福智山12:40~13:00-ホッテ谷登山口14:00-鱒淵ダム駐車場14:30

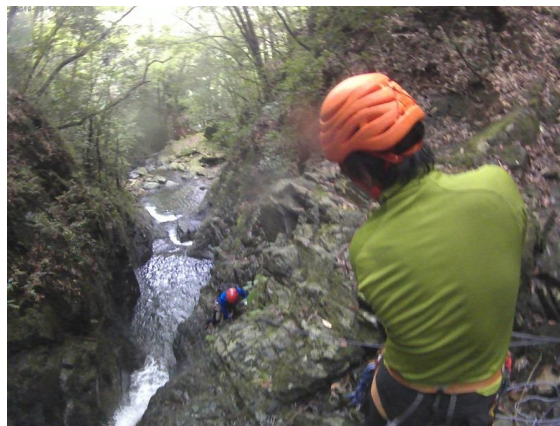
《報告》

鱒淵ダム管理棟と県道をつなぐ丁字路交差点周辺(国土地理院地図「鱒淵ダム」の「鱒」の字付近)は路側帯が広くっており何台か止められる。そこに車を止め出発(写真右)。登山客だけではなく釣り客も多いようで、朝7:30の時点でほぼ満車だった。

七重の滝登山口で沢装備をつけて歩く。入渓の目印となる赤い橋に出会うと、そこからもう一の滝が見える。A屋さんが登山道を使って落ち口に移動してロープを出してくれて、一部メンバーは登りに挑戦。水流すぐ脇、右岸側の壁は登れる(写真右下)。残地ハーケンも見つただけで2つ。1つはピカピカの新しいような軟鉄だった。

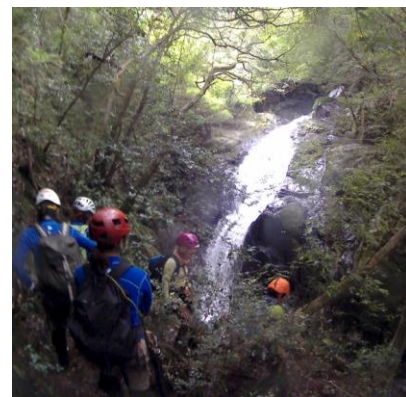


すぐ二の滝に出会うが、きょうは水流が多めなのか、登れそうもなく断念。水流の中にはホールドスタンスが豊富にありそうだが、中を突っ切る勇気はなかった。後で記録を見たら脇をいろいろ登っているので、ちょっとチャレンジが足りなかったかもと後悔…。二の滝を登山道から巻いていると三の滝も見えたが、登山道からとりつきまで降りるのが大変そうで、残念だがそのまま巻いた。(写真右下、登山道から三の滝を望む)



↑一の滝を登る様子

三の滝の後、数メートルの滝があって右岸側の岩壁を登ってロープを出す。これが四の滝?その後に出てくる斜滝のナメ滝が五の滝で、そのまま登れる。六の滝は左岸側の壁をロープ張って登る。最後の七の滝は、またもやA屋さんが横の壁から登ってロープを張ってくれたので(すみません!),それぞれ登る。多くは右岸から水流の中を突っ切って左岸側の岩壁に移動して登る。水流の中を突っ切って登るとホールドスタンスは豊富だが、水に打たれてまず見えないのがしんどい。手探り足探りつつ身を清めていると、斜め下を向くと良いというのがわかった。ネットの記録で「つばのあるヘルメットやゴーグルがあった方が良い」と書か



↑登山道から見る三の滝

れて半信半疑だったが本当にそうだった。七の滝を抜けると、ほどなく傾斜は緩くなって河原歩きになる。景観は良いが飽きてくるので、co405 付近の二股（登山道の山瀬越に行く道との分岐）で脱溪し登山道歩きに切り替え、福智山山頂まで。曇りでそんなに気温が高くなかったのに助けられた。山頂からはホッテ谷新道で下山。下山後は近くに温泉がなかったので、スーパー銭湯四季の花に寄って帰路へ。値段は520円でお手頃だけど、シャンプーなどは置いていないので注意！

↓たぶん五の滝



↓たぶん六の滝



↑七の滝は水流を突破して左岸側に移って登る。右の写真は水流を突破するK崎さん。

<参考行動図>

